

2023年度 事業計画及び収支予算

2023年4月1日から2024年3月31日

I. 予算の概要

2023年度収支予算は、『収支予算書（損益ベース）推移』の通り。

1) 運用利回り

世界的な金利上昇がみられる中、我が国の10年利付日本国債は、年初来0.5%台となっている。2022年度は国債2億円の償還があったものの、2021年度に投資を実行した伊藤忠商事株式からの高配当により、追加投資は見送ったが、2023年度の運用益は、前年度を上回る106百万円を見込む。（運用利回り2.1%）
また、伊藤忠商事及びグループ会社等からの寄付は微減を見込むが、運用益と合わせ138百万円の経常収益を確保する見込みである。

2) 寄付金収入

◇一般寄付金 6.0 百万円 主に伊藤忠商事グループ会社よりの寄付金

◇指定寄付金 22.0百万円 伊藤忠商事、及びグループ企業から頂いた事業に用途を指定した寄付金

- ・助成事業積立資産及び電子図書普及事業積立資産（指定寄付金）の残高42百万円（2021年度末残）の内、予算書振替額25.6百万円を助成金の増加等に対応するため取り崩す見込みである。

3) 財団事業

前年度と同様「子ども文庫助成事業」と「電子図書普及事業」の2事業とする。
「子ども文庫助成事業」の応募要項を見直し、より応募しやすくしたことにより、「子どもの本購入費助成」及び「子どもの本100冊助成」の応募者の増加が期待され、引き続き助成金の増加を見込む。また、助成事業の人員増、訪問面談の出張回数増、並びに、贈呈式の出席人数増も見込む。
「電子図書普及事業」は、ホームページ検索機能強化等、ソフト面の充実を図る。
この結果、経常費用は138百万円となり、評価損益等調整前当期経常増減額がゼロ近傍の予算を見込んでいる。

4) 人員体制

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
事務局長	1	1	1	1
助成事業部	1	1	2	2
電子図書普及事業部	3	3	3	3
総務部	1	1	1	2
合計 ※1	6	6	7	8

※1：2023年度 新規採用1名予定。

Ⅱ.事業計画

1. 子ども文庫助成事業

下記表の ①～⑤までの助成活動を行う。

(単位:百万円)

	2022年度	見通し	2023年度 計画	
	件数	金額	件数	金額
①子どもの本購入費助成	58	17.4	60	18.0
②病院・施設子ども読書活動費助成	20	6.0	25	7.5
③子どもの本100冊助成	23	3.5	30	4.0
④子ども文庫功労賞	2	0.7	2	0.7
⑤その他読書支援 シャンティ絵本を贈る活動		0.8		0.8
被災地支援	(14校)	2.2	(12校)	2.0
助成金 合計		30.6		33.0
贈呈式 費用		3.6		5.0
その他 事業費		10.0		14.9
人件費 (社会保険料・通勤費・退職 給付費用含む)		18.5		22.7
子ども文庫助成事業 経費合計		62.7		75.6

①子どもの本購入費助成（現金助成）

・対象

子ども文庫、読み聞かせ団体、子ども文庫連絡会、非営利団体等で、子どもたちへの読書支援活動歴が3年以上ある団体、及び個人。

・内容

児童書等の購入、充実を目的とした購入費を1件当たり 30万円助成。
2023年度は前年度比微増の60件、18百万円の助成を計画している。

②病院・施設子ども読書活動費助成（現金助成）

・対象

病院内で療養中の子どもたち、障害児施設、養護施設、その他読書にハンディキャップのある子どもたちに対し読書啓発活動を行う3年以上の活動歴がある団体や特別支援学校等、公立を含む施設及び非営利団体等。

・内容

子ども達が読書を楽しむための図書等の購入、及び障害がある子どもたちに対する読書支援機器等の購入、及び図書作成のための費用を含み、30万円助成。
前年比増の25件、7.5百万円の助成を見込む。

③子どもの本 100冊助成（図書現物助成）

・対象

子ども文庫、読み聞かせ団体、子ども文庫連絡会、非営利団体等で、既に読書啓発活動を行っている団体。

・内容

当財団が選書した小学校低学年・中学年・高学年、乳幼児の4セットの中から希望の100冊を贈呈。

任意のセットの選択、もしくは4セットに150冊セットを加えた550冊全体の中から好きな100冊を選書することも可能。選書の柔軟性を増したことを鑑み、2023年度は前年比同様、30件、4百万円を計画している。

④子ども文庫功労賞

・対象

子どもの読書啓発活動に長年に亘り（概ね20年以上）貢献されてきた個人。原則として第三者の推薦による応募とする。

・内容

1名につき 30万円と副賞5万円相当。予定金額 70万円（2名分）

⑤その他読書支援

■シャンティ絵本を贈る活動

・内容

シャンティ国際ボランティア会が行っているカンボジア、ラオス、アフガニスタンなど絵本が不足している東南アジア地域に、日本の絵本を届ける運動。東日本大震災の被災地の子どもたちとともに活動に参加し、2023度は、450冊程度を贈る計画である。

■被災地支援

・内容

伊藤忠商事株式会社からの寄付金と公益社団法人全国学校図書館協議会に協力頂き、被災地で児童書を必要としている小学校に子どもの本100冊図書セットを寄贈している。

2022年度は、東日本大震災で岩手・宮城・福島10小学校、令和元年7月豪雨被害で岡山県の2中学校、令和4年9月の静岡県2小学校、合計で14校に14セットの図書を寄贈した。

2023年度は被災地の学校12校への図書の寄贈を計画している。

2. 電子図書普及事業

2022年度作品数と寄贈先

2010年度に開始した本事業は14年目を迎え、2022年度は「わいわい文庫」を66作品制作し、総作品数は800作品となった。これからも子どもたちの多様なニーズに応えるため、良質な児童書の電子化を進めていく。

2022年度の寄贈数は新型コロナ禍の影響が続き、2021年度並みの1,450件程度に止まる見込みだが、2023年度は2019年6月に成立した「読書バリアフリー法」の浸透と共にGIGAスクール構想による1人1台端末の利活用が進むことが期待され、寄贈希望は1,500件を見込んでいる。

配布年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
作品数	83	91	72	66	70
寄贈先	1,431	1,475	1,453	1,450 (見通し)	1,500 (見通し)

2023年度重点施策

- ①読書バリアフリー研究会の開催等を通じて、数多くの障害のある子どもたちや保護者に、わいわい文庫の周知・啓蒙活動を推進する。
- ②出版社や専門家等とのつながりを密にし、読書バリアフリーに関する最新情報を把握するとともに、図書館や特別支援学校等、現場のニーズを適時的確に捉え、読書バリアフリーへの適切な取組みを推進する。
- ③他のマルチメディアデイジー図書の製作団体等との情報交換を一層密にし、業界の最新情報を把握しつつ、現場ニーズ等の実態に合った電子図書製作を推進する。

■製作

- ・寄贈先のニーズの把握に加え、関係団体との連携を強化し、障害児の希望が多い作品を製作する。
- ・伊藤忠グループ会社等と協同で作品製作に取り組む。

■広報・啓蒙

- ・全国5か所での読書バリアフリー研究会の現地開催を予定する。特に、東京での開催は、国立国会図書館国際子ども図書館との共催でオンライン配信を行い、全国各地への広報活動を強化していく。
- ・障害者教育研究会や福祉機器展へ参加し広報活動を強化していく。
- ・わいわい文庫の活用例を記載した冊子【わいわい文庫活用術】の作成とホームページでの検索機能強化を図る。

(単位:百万円)

	2022年度 見通し	2023年度 計画
製作・普及等事業費	8.8	11.8
その他 事業費	8.4	10.4
人件費	20.5	25.1
合計	37.7	47.3

以上

収支予算書(損益ベース)

2023年 4月 1日から2024年 3月 31日まで

公益財団法人 伊藤忠記念財団

(単位：千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息	50,335	52,735	△ 2,400	債券投資残高減少 株式投資増加に伴う配当金増加
基本財産受取配当金	48,384	40,902	7,482	
基本財産受取利息振替額	6,160	6,160	0	
② 特定資産運用益				
特定資産受取利息	1,260	1,260	0	
③ 受取寄付金				
受取寄付金	6,000	6,000	0	
受取寄付金振替額	25,551	18,263	7,288	
④ その他				
雑収入				
経常収益 計	137,690	125,320	12,370	
(2) 経常費用				
① 事業費				
①-1 子ども文庫助成事業費				
(1) 給料手当	17,913	15,912	2,001	新入社員1名採用
(2) 福利厚生費	3,137	2,946	191	
(3) 通勤費	834	638	196	応募対象拡大による助成金増加
(4) 助成金	33,000	31,500	1,500	
(5) 謝礼金	576	576	0	
(6) 贈呈式費用	5,000	5,000	0	
(7) 旅費交通費	2,000	1,500	500	50周年記念準備費用（出版物関連）+業務効率化費用
(8) 業務委託費	4,036	1,260	2,776	
(9) 消耗品費	30	30	0	
(10) 印刷製本費	492	492	0	
(11) 什器備品費	10	10	0	
(12) 光熱給水費	130	130	0	
(13) 使用料	1,280	1,280	0	
(14) 保険料	10	10	0	
(15) 図書新聞費	30	30	0	
(16) 通信費	720	720	0	
(17) 賃借料	3,359	3,359	0	
(18) 荷造運搬費	1,000	1,000	0	
(19) メンテナンス費	200	200	0	
(20) 会議費	200	200	0	
(21) 諸会費	300	245	55	研修費用増
(22) 手数料	540	540	0	
(23) 雑費	50	50	0	
(24) 退職給付費用	771	156	615	
(25) 減価償却費	0	0	0	PC、サーバ等はリース対応
(小 計)	(75,618)	(67,784)	(7,834)	
①-2 電子図書普及事業費				
(1) 給料手当	19,919	17,869	2,050	研究会開催4か所+2024年度開催予定先訪問
(2) 福利厚生費	3,737	4,176	△ 439	
(3) 通勤費	679	844	△ 165	HP機能強化+わいわい文庫再生ソフト付加+業務効率化費用
(4) 謝礼金	1,300	1,300	0	
(5) 旅費交通費	1,800	1,440	360	
(6) 業務委託費	4,240	3,126	1,114	
(7) 消耗品費	4,020	4,020	0	
(8) 印刷製本費	1,200	1,170	30	

(9) 什器備品費	579	579	0	
(10) 光熱給水費	153	153	0	
(11) 使用料	1,400	1,221	179	PCリース料、会場使用料
(12) 保険料	7	7	0	
(13) 図書新聞費	300	300	0	
(14) 通信費	1,568	1,568	0	
(15) 賃借料	4,066	4,066	0	
(16) メンテナンス費	184	184	0	
(17) 会議費	300	250	50	
(18) 諸会費	300	200	100	研修費用増
(19) 手数料	644	644	0	
(20) 雑費	50	50	0	
(21) 退職給付費用	806	694	112	
(22) 減価償却費	0	0	0	
(小計)	(47,252)	(43,861)	(3,391)	PC、サーバ等はリース対応
(事業費計)	(122,870)	(111,645)	(11,225)	
② 管理費				
(1) 役員報酬	3,015	4,050	△ 1,035	退職給付費用計上減
(2) 給料手当	5,030	3,640	1,390	管理従事者増員のため
(3) 福利厚生費	902	707	195	
(4) 通勤費	303	141	162	
(5) 謝礼金	32	32	0	
(6) 旅費交通費	10	10	0	
(7) 業務委託費	800	507	293	2022年度195千円の内訳
(8) 消耗品費	10	10	0	
(9) 印刷製本費	80	80	0	
(10) 什器備品費	210	210	0	
(11) 光熱給水費	55	55	0	
(12) 使用料	767	719	48	PCリース料
(13) 保険料	1	1	0	
(14) 図書新聞費	10	10	0	
(15) 文具費	40	40	0	
(16) 広告宣伝費	35	35	0	
(17) 通信費	288	288	0	
(18) 賃借料	1,414	1,414	0	
(19) メンテナンス費	112	112	0	
(20) 会議費	460	460	0	
(21) 諸会費	300	300	0	
(22) 手数料	230	230	0	
(23) 租税公課	1	1	0	
(24) 雑費	60	60	0	
(25) 退職給付費用	104	0	104	
(27) 減価償却費	551	564	△ 13	
(小計)	(14,820)	(13,676)	(1,144)	
経常費用計	137,690	125,321	12,369	
評価損益等調整前当期経常増減額	0		0	
評価損益等	0	0		
有価証券償還損益等	0	0		
評価損益等計	0	0		
当期経常増減額	0		0	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計			0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	4,694,583	4,556,370	138,213	
一般正味財産期末残高	4,694,583	4,556,370	138,213	
II 指定正味財産増減の部				

受取寄付金（指）				
受取寄付金（指）	22,000	24,000	△ 2,000	
基本財産運用益				
基本財産受取利息	6,160	6,160	0	
一般正味財産への振替額				
特定資産取崩額	△ 25,551	△ 18,263	△ 7,288	
基本財産受取利息	△ 6,160	△ 6,160	0	
当期指定正味財産増減額	△ 3,551	5,737	△ 9,288	
指定正味財産期首残高	372,407	353,953	18,454	
指定正味財産期末残高	368,856	359,690	9,166	
Ⅲ 正味財産期末残高	5,063,439	4,910,323	153,117	